

AWARDS FUKUOKA 2017 エントリーシート

事業名称	7月公開例会「エデュマ～エデュケーションマーケット～」
申請LOM名	久留米青年会議所
事業年度LOM会員数	113名
事業年度理事長	石田有志
2017年度理事長	石田有志
事務局住所	福岡県久留米市城南町15の5
事務局TEL/FAX	TEL:0942(38)5582 FAX:0942(32)9855
担当者	氏名:古賀伸一 電話番号:090(8353)7506 E-Mail:koga-s1@tenjinkail.or.jp

事業参加者 (実施合計名)	JC会員数	実施	77名	計画	100名
	協力団体・企業 などの関係者数	実施	0名	計画	0名
	一般参加者数	実施	113名	計画	100名
事業実施に至る背景	<p>地域の未来はこれからを担う青少年達の手で創造されていきます。彼らがこれから生きていく社会には様々な困難が待ち受けているかもしれません。しかし、彼らが夢を抱き、自分の将来の可能性を信じて行動する大人へと成長すれば、どんな困難が待ち構えていようと、必ず明るく豊かな未来を切り拓いてくれるはずです。生きていく上で職業に就いて働くことは不可欠の要素です。青少年が将来職に就くことに対して希望を持つことが出来れば、自分自身の未来を輝くものとして捉えられるようになります。我々には彼らが自らの将来に希望と自信を持って成長できるよう支援していくことが強く求められています。</p>				
事業目的 対外	<p>参加者： 「職」への体験を通じて、仕事をする上での楽しさを実感し、将来働く上で有用な職業の原体験の機会としていただく。 来場者： 青少年達が一生懸命に仕事に勤しむ姿を見守っていただきながら、買い物を楽しんでいただく。</p>				
事業目的 対内	<p>① 会員が一丸となって、地域の青少年達の「職育」に取り組むことによって、青少年の育成を支援する。 ② 事業運営を通じて、地域の青少年達の頼れる先輩であることを再認識する。</p>				
事業内容 400文字程度	<p>久留米市内のこども達100名（実績113名）に、マーケットを設営しその中で自ら店舗を経営して頂き、働く事を仮想体験していただきます。こども達は2つのチームに分かれ、その中で10人ほどで一つの店舗</p>				

	<p>を経営し、「こだわりのジェラート」「実力派の焼き菓子」「新鮮地元元気野菜」「ほっこり美味しい手作りパン」「今が旬！季節の果物」のいずれかの商品を販売します。</p> <p>店舗経営をリアルに体感してもらう為、“仕入れ”と“利益計算”の要素を盛り込みました。“どういう風に売るか、何を売るか、どのような広告宣伝をするか”試行錯誤し、経費と売り上げのバランスを考えながら“おろしうり市場”から販促物やサブ商品を仕入れながら販売を行って頂き、最終的にチームの利益の合計額を求め、勝敗を決します。</p> <p>自らが扱う商品の良さを他人にうまく伝え、商品を買っていただくことで得られる喜びや、働くことの楽しさややりがいを体感し、将来働く事への前向きな展望を持って頂くことを狙います。</p>	
事業の概要 (○を付けてください)	開催の形式	主催
	事業対象者	小学生・その他学生
	事業区分	新規事業
	公益・共益区分	なし
事業予算・決算	予算額	945,300
	決算額	909,553
開催日時	2017年 7月 9日 9:30～ 7月 9日 17:30	
開催場所	久留米シティプラザ 六角堂広場	
協力団体	共催	
	協賛	
	後援	久留米市 久留米市教育委員会 読売新聞西部本社 朝日新聞社 毎日新聞社 西日本新聞社 久留米日日新聞社 CRCCメディア ドリームス・エフエム
	その他	
事業実施へ工夫した点と	【企画】	

<p>その効果 400 文字程度</p>	<p>本事業では、職にまつわる教育「職育」をテーマに、青年会議所活動の一つである、実践することで得られる修練を手法として、こども達の将来につながる原体験としてもらえる事業を企画しました。</p> <p>計画段階では久留米市の教育部や教育委員会、PTA 役員の方々と打ち合わせを行い、事業の有用性や、事業実施日について等相談し、職業体験など職にまつわる授業があまり小学校では行えていない点、学校外での設営を要する体験型のイベントなどは公教育中では実現が難しいという意見を頂き、主に小学生を対象に実践形式の体感型事業としてマーケットの経営を行って頂く事業を選択しました。</p> <p>実際にお客さんに接して頂き、さらに“仕入れ”“利益計算”といった実際の店舗経営に必要な要素を盛り込み、よりリアルに職を体感して頂けるよう工夫しています。</p> <p>また、打ち合わせの中で学校教育の場ではあまり機会を作れない、クラス、学校、年齢を超えた「斜めの関係の繋がり」を持たせて欲しいとの希望があり、小学生と中学生を混成したチーム編成を行い、JC 会員も販売ブースを設置する等、学校、年齢を超えた絆を育んで頂きました。</p> <p>【動員】</p> <p>参加者の動員に際しては、多くのこども達に参加して頂けるように、久留米市の教育部と教育委員会に後援頂き、久留米市発行の広報誌「広報久留米」への掲載を要請し、教育委員会より各学校に呼び掛けて頂き、各学校より児童へ事業の告知を行っていただき、定員を上回る 120 名の応募を頂く事ができました。当日のキャンセルも少なく、113 名に実際に参加頂く事ができました。</p> <p>マーケットへの来場者の誘致には、自治体に密着した新聞社にも掲載依頼を行い、地元のイベントに関心がある層にも情報が届くよう取り組み、ケーブルテレビやコミュニティラジオ局にも後援依頼を行い、より広範に広報活動を行いました。</p> <p>【安全】</p> <p>暑い時期の屋外での事業の為、体調不良の子どもが出た際に迅速に対応できるよう、救護ブースを設置し、熱中症予防のための氷、水分などを準備し、参加者各人 1 時間につき 10 分は休憩を取るよう引率班がチェックし、休憩中は必ず水分補給をするように指導しました。</p> <p>また、食品を扱う事業ですので、冷蔵車の手配、氷などの保冷剤を十分に準備し、手指の消毒も励行し、可及的に食中毒防止の取り組みを行いました。</p>
<p>地域社会への影響</p>	<p>こども達へのアンケート結果では、参加した全員から「とても楽しかつ</p>

400文字程度	<p>た」「楽しかった」との回答をいただきました。会場の雰囲気も活気にあふれており、それぞれのブース毎に特色ある売り方を展開して積極的に事業に取り組んで頂けました。「売ることの大切さに気付きました」「利益を出すことの難しさを感じました」等の感想も多くあり、仕事をする上での楽しさを実感してもらうことが出来たのではないかと思います。</p> <p>また視察に来ていただいた久留米市教育部の方や、参加したこども達の保護者の方々から来年もまた実施して欲しいとの声も頂き、地域のこども達への「職育」のニーズの高さと、LOMが地域において求められる役割を再認識することが出来ました。</p>
LOMへの影響 400文字程度	<p>事業当日は参加したこども達の熱気を感じ、会員一丸となって設営に当たることが出来ました。LOMの士気を高める意味でも青少年育成事業の有用性を確認する事が出来ました。</p> <p>地域から求められる事業を行う事は、地域への貢献とLOMの認知度を高めるだけでなく、青年会議所活動の意義を実感する意味でも重要である事を再認識する事が出来ました。</p>
事業PRポイント ご自由に記載して下さい	<p>青少年育成事業は青年会議所にとって、地域の将来の為に貢献する重要な事業です。</p> <p>「職」や「働く事」に成長の過程で触れる事は、これから将来を担うこども達にとって重要な意味を持ちます。</p> <p>楽しみながら働く事の意義を学んだ今回の事業が、参加したこども達が成長した後に思い出せる原体験となってくれた事を望みます。</p>

事業風景写真も4～5枚程度あわせてお送り下さい。

エントリーアドレス：fukuoka.awards@gmail.com